



皆さんこんにちは！

地域おこし協力隊の渡辺と池田です。
今月の集落支援だよりでは、稲刈りの様子と杉山集落のイベントの様子を紹介します。



地域おこし協力隊 集落支援担当
池田 潤 隊員 渡辺 貴洋 隊員

稲刈り体験

春に自分たちで手植えをした田んぼの稲刈りを行いました。

今回の稲刈りには、地域おこし協力隊や芸術村の滞在アーティスト計8名が参加し手刈りで収穫しました。



稲刈りの様子

岩橋集落支援員に収穫の仕方を教えてもらいながら、約2時間かけて行いました。前日の雨で、足元がぬかるむ中での作業となり、さらに昨年と違い今年は稲が倒れてし

まったことで、手で刈るのも一苦労でした。しかし、みんながやるのが楽しく感じ

ました。参加した人は、初めて稲刈り体験ができたことに喜びを感じたと話していました。

作業前には、昨年採れた米でおにぎりを作り、作業が終わった後に田んぼの脇でみんな頬張りました。稲刈りは協力して同じ時間を共有できるもので、ごはんがよりおいしく感じられるものだと思います。



稲刈り後にみんなでおにぎりを食べました

杉山越後裏街道ウォークを開催

11月1日、杉山集落で越後裏街道ウォークのイベントが開かれました。秋晴れの中、紅葉を楽しみつつ、旧街道に思いを馳せ、片道約1.2kmのコースを散策しました。



イベントの様子

コースの途中には、主人を待ちわびて亡くなった忠犬だと言われる『犬石』や、肘を曲げた時のような形をした『肘曲』といったポイントもあり、実行委員長の説明を聞きながら杉山集落に残る歴史に触れていました。



上様御小休所の碑での記念撮影

をした上で、奥川地区住民限定で参加者を募り、10名の参加がありました。

参加した人からは、「奥川に長年住んでいるがまだ知らないところがあった」、「こういう機会がないと来ることができないから今回参加してよかった」という声を聞くことができました。

この様子は福島民友新聞にも取り上げられました。来年度も継続して、より多くの皆さんに参加してもらえればと思います。